

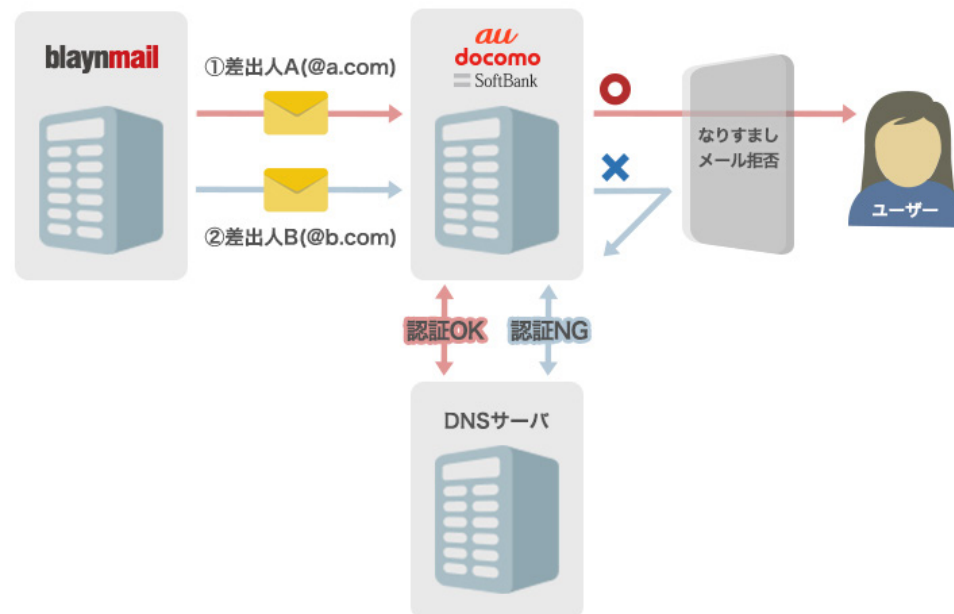
# blaynmail

SPF レコードについて



## SPF (TXT) レコードとは？

SPF (Sender Policy Framework) とは、メールが正しい発行元メールサーバから送信されたものであると証明する『送信ドメイン認証』という仕組みのことです。携帯キャリア (NTT docomo、au、Softbank) 各社の「なりすましメール拒否」に対応するために有効なドメインの設定です。



## 例えば？

ブレインメールでは自由に送信者のメールアドレスを設定できます。ブレインメールで利用する「送信者」を【お知らせメルマガ <info@example.com>】と設定している場合、このままメールを配信してしまうと「なりすましメール」となることがあります。

それは【お知らせメルマガ <info@example.com>】の "example.com" のサーバから配信をしているわけではなく、ブレインメール "blayn.jp" のサーバから配信をされているため、携帯キャリアからは「なりすましメール」では？と疑われてしまうのです。

このようなとき、携帯キャリアでは送信元のドメインが、どこから配信されているかを示している SPF (TXT) レコードを確認します。ここで、正しく示していれば「なりすましメール」と判断されることなく配信することができます。

### 参考

送信ドメイン認証 (Sender ID / SPF) について | NTT docomo  
[https://www.nttdocomo.co.jp/service/communication/imode\\_mail/notice/sender\\_id/](https://www.nttdocomo.co.jp/service/communication/imode_mail/notice/sender_id/)

送信ドメイン認証 SPF レコードについて | au  
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/mail/attention/spf-record/>



# 設定方法

## ①ドメインの確認

ブレインメールで使用している送信元アドレスのドメインに SPF (TXT) レコードを設定します。※メールアドレスの "@ より後ろ" の部分がドメインです。

お知らせメルマガ <info@example.com>



この場合、**example.com** に設定をします

## ②ドメインの設定

ドメインの設定は、ブレインメールの管理画面上では実施いただけません。ドメインを発行した、サービスでおこないます。(自社で発行している場合は、管理者さまにお尋ねください。)

SPF に記述する内容

**"v=spf1 include:spf.bmv.jp ~all"**

※既に SPF レコードを設定済みの方は、**include:spf.bmv.jp** を追記してください。

## お名前.com での設定方法

- ①お名前 .com のサイトへログイン
- ②メニュータブの「ドメイン設定」をクリック
- ③左メニューの【ネームサーバーの設定】グループの「DNS 関連機能の設定」をクリック
- ④【DNS レコード設定を利用する】の「設定する」ボタンをクリック①設定したいドメインを選択 ※①で確認したドメイン (例: example.com)
- ⑤「入力画面へ進む」ボタンをクリック
- ⑥下記が表示されますので、【入力】項目にて「TYPE」は「TXT」を選択。「VALUE」は "v=spf1 include:spf.bmv.jp ~all" を入力して、追加をクリック

入力	TYPE	TTL	VALUE	優先	状態	追加
	TXT	3600	v=spf1 include:spf.bmv.jp		有効	追加

A/AAAA/CNAME/MX/NS/TXTレコード						
ホスト名	TYPE	TTL	VALUE	優先	状態	削除
SRVレコード						
サービス名	プロトコル	ホスト名	TYPE	TTL	削除	
PRIORITY	WEIGHT	PORT	TARGET	状態		

## SPF の設定ができないドメイン

右記のドメインは、各 ISP が管理するドメインのため、SPF 設定ではできません。設定したい場合は、新しくドメインを取得いただく必要がございます。

@gmail.com Google  
 @yahoo.co.jp / @ybb.ne.jp Yahoo JAPAN  
 @\*\*.ocn.ne.jp NTT  
 @\*\*.so-net.ne.jp So-net  
 等のフリーメールアドレス